

団体名 新日本婦人の会（略称 新婦人） 東久留米支部

【活動エリア】 東久留米市内全域

【活動日】 常時・不定期

【代表名・問い合わせ先（電話・メールアドレスなど）】

支部長 永山房子 電話・FAX 042-474-8024 hkrm-shinfujin@knd.biglobe.ne.jp

【主な活動内容・紹介】

私たち新婦人は平和とジェンダー平等へ、女性の願いで行動する女性団体です。1962年に平塚らいてう、いわさきちひろらの呼びかけで創立しました。2003年国連NGOに認証されました。「新婦人しんぶん」週刊を発行し、学び合い、楽しいサークル活動にも取り組んでいます。そして環境問題も大きなテーマの一つとして取り組んでいます。



SDGsタペストリーを掲げて

2020年10月からSDGsの一つひとつの目標を会員みんなで学び、生活に活かしていきたいと「タペストリーづくり」に取り組みました。2021年1月に完成し、今、全班で回覧し理解を深めています。

これまでも、「ごみの減量」「節電」「自然エネルギーへの切り替え」など工夫して実践して来ました。

ダンボールコンポストづくり



段ボールの底をガムテープでしっかり止める。持ち手の穴もテープでふさぐ。（虫の侵入を防ぐ）



布で袋を作り（男性用Tシャツの襟と袖を切り落として縫うとよい）中に敷く。（段ボール下にたまった土を掘り起こしやすい。）



基材となるピートモス（14ℓ）・くん炭（10ℓ）・米ぬか（1kg）を入れてよくかき混ぜる。



水または湯冷ましを少しずつ入れて混ぜ込む。手で握って、ちょうどよい固さにして完成！



家庭で出る野菜くず、だし殻、小魚、油脂などを細かく切って基材によく混ぜこむ。毎日かき混ぜることで微生物の活動が活発になり分解が早まる。
※布袋をかぶせておくと、虫の侵入を防ぐことができる。

会員の取り組みから



生ごみは新聞紙の上で乾かしてから、燃えるごみに出している。

一昨年より生協を通して、自然エネルギーの電気に切り替えた。

茶殻やコーヒー糟を乾かして、土に混ぜて庭に巻いている。

生ごみは土作りに生かし、ガーデニングに利用している。ごみの量が半分に減った。

出かける時はいつもマイボトルを持参している。

みつろうラップを作って、毎日使っている。サランラップの使用量が減った。

新婦人の春・秋のバザーで古着などの不用品を交換している。

保存容器は蓋付きのもので、陶器やガラス製のものを使っている。



市民自主企画講座

「プラスチックごみと環境」

今秋に講師を招いて、市民のみなさんといっしょに学習する計画を立てています。（昨年は延期から中止に。今年はぜひ実現したいです。）